

公益財団法人 ソロプチミスト日本財団
令和3年度 事業報告書
(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

〈事業内容〉

1. 支援事業（公益目的事業2）

(1) ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞

教育、科学技術、医療技術、環境、IT技術、介護福祉、社会福祉、伝統技術、伝統文化、文学、経済学、健康、平和などさまざまな分野で将来性のある研究をしている優秀な女性を支援し、女性研究者の躍進の機会を与えることを目的とし、研究費を支援する本事業に全国のソロプチミストクラブから6名が推薦された。

当財団の支援・奨励事業選考委員会による選考を経て受賞者1名を決定し、令和3年11月2日にウェスティン都ホテル京都で開催した年次贈呈式において、認定証と支援金500万円の目録ならびに記念品を贈呈した。受賞者名は後記の通り。選外者には礼状を送付した。

なお本支援金については、支援期間満了後に当財団所定様式の会計報告書(支援期間が1年以上の場合は1年経過時に中間報告)ならびに研究報告書の提出を義務付けている。

2. 奨励事業（公益目的事業1）

(1) ソロプチミスト日本財団 ドリーム賞

女性や将来を担う子どもたちが希望を持てるような社会の構築を願って、自身の活動やその成果によって、女性や子どもたちに夢や勇気を与え、明るい未来を築くことに貢献した人を称える本賞に、全国のソロプチミストクラブから19名が推薦された。

当財団の支援・奨励事業選考委員会による選考を経て受賞者1名を決定し、年次贈呈式において、賞状と副賞100万円の目録ならびに記念品を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

3. 顕彰事業（公益目的事業1）

(1) 千嘉代子賞

永年にわたり継続的に当財団定款の事業に掲げる各分野に該当する活動を行い、その活動において顕著な功績が認められる日本人を表彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから39名が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、3名の受賞者を決定した。年次贈呈式において賞状と副賞100万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

(2) 社会ボランティア賞

地域社会のニーズに適合した地域密着型のボランティア活動を継続的に行い、誠実に責任を果たしている個人または団体を顕彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから203件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、38件の受賞者を決定した。年次贈呈式において社会ボランティア賞の賞状と副賞20万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

選外者には推薦クラブを通じて感謝状を送付した。

(3) 学生ボランティア賞

学生ならではの視点で当財団定款の事業に掲げる各分野に該当するボランティア活動を継続的に行い、誠実に責任を果たしている学生、個人または団体を顕彰する本賞に、全国のソロプチミストクラブから51件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、8件の受賞者を決定した。年次贈呈式において学生ボランティア賞の賞状と副賞10万円の目録を贈呈した。受賞者名は後記の通り。

選外者には推薦クラブを通じて感謝状を送付した。

4. 援助事業（公益目的事業2）

(1) ソロプチミスト日本財団 活動資金援助

資金困難な状況の中で地域社会のニーズに応えようと努力している団体へ、そのボランティア活動が継続できるよう活動資金を提供する本事業に、全国のソロプチミストクラブから46件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、活動資金を援助する12団体を決定。年次贈呈式において、援助先を推薦したソロプチミストクラブへ援助金30万円の目録を贈呈した。援助先名は後記の通り。

なお本援助金については、令和4年10月31日までに、当財団所定様式の使途報告書提出を義務付けている。

(2) ソロプチミスト日本財団 災害復興援助

被災地における復興のための活動ならびに日本各地における被災者支援のための活動を実施している団体へ、そのボランティア活動が継続できるよう活動資金を提供する本事業に、全国のソロプチミストクラブから12件が推薦された。

国際ソロプチミストアメリカの日本5リジョンによる選考、当財団の顕彰・援助事業選考委員会による選考を経て、活動資金を援助する5団体を決定。年次贈呈式において、援助先を推薦したソロプチミストクラブへ援助金30万円の目録を贈呈した。援助先名は後記の通り。

なお本援助金については、令和4年10月31日までに、当財団所定様式の使途報告書提出を義務付けている。

5. 選考委員会

(1) 支援・奨励事業選考委員会

下記の通り開催し、各賞の受賞者を決定した。

開催月日： 第1回 令和3年5月20日
第2回 令和3年7月7日（外部委員出席）【Web会議】

委員長 佐古 順子 理事
委員 井上 恭子 常務理事
田中 和美 常務理事
加藤 敬子 理事
潮 まどか 理事

外部委員 片峰 茂氏
〔地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事長〕

森 正樹 氏
〔東海大学医学部長・教授〕
職責委員 千 容子 理事長

(2) 顕彰・援助事業選考委員会

下記の通り開催し、各賞の受賞者ならびに援助金贈呈先を決定した。

開催月日： 令和3年7月12日
委員長 加藤 敬子 理事
委員 山本 富士子 理事
鈴木 淑子 理事
大島 好恵 理事
住友 カヲリ 理事【欠席一評価提出】
三島 寿子 理事
外部委員 鈴木 晶子 氏
〔京都大学大学院 教育学研究科 教授〕
堀井 茂男 氏
〔公益財団法人慈圭会 慈圭病院 理事長〕
職責委員 千 容子 理事長

6. その他事業関連委員会

(1) 年次贈呈式実行委員会

当財団は公益目的事業の一環として年次贈呈式を開催する。下記の通り準備のための委員会を開催した。

開催月日： 第1回 令和3年 4月 5日
第2回 令和3年 5月25日【Web会議】
第3回 令和3年 8月 5日
第4回 令和3年10月 1日
委員長 潮 まどか 理事
委員 井上 恭子 常務理事
加藤 敬子 理事
大島 好恵 理事
職責委員 千 容子 理事長

<管 理 部 門>

1. 役員会等に関する事項

下記の通り開催し、当財団の事業の執行、運営管理に努めた。

(1) 理事会

開催月日： 第1回 令和3年 2月24日【Web会議】
第2回 令和3年 3月11日【Web会議】
第3回 令和3年 4月 2日【書面決議】
第4回 令和3年 4月16日【Web会議】
第5回 令和3年 6月30日【Web会議】

第6回 令和3年11月 2日

第7回 令和3年12月 7日

(2) 評議員会

開催月日： 定 時 令和3年 3月16日 【Web 会議】

2. 役員等に関する事項

令和3年12月末現在の役職者は以下の通り。

役 職	氏 名	就任年月日	現 職 等
理事長	千 容 子	H28. 3. 9	一般社団法人 茶道裏千家淡交会 理事長
常務理事	井 上 恭 子	H30. 3. 12	公益社団法人 才能教育研究会 ピアノ科指導者
常務理事	田 中 和 美	H30. 3. 12	田中税理士法人
理 事	佐 古 順 子	H30. 3. 12	宗教法人 本経寺 役員
理 事	加 藤 敬 子	H30. 3. 12	医療法人 加藤歯学研究会 理事
理 事	潮 まどか	H30. 3. 12	株式会社 イサミヤアールビー 取締役
理 事	山 本 富士子	R 2. 3. 19	太洋舎商事 株式会社 代表取締役
理 事	鈴 木 淑 子	R 2. 3. 19	大田区 家庭相談員
理 事	大 島 好 恵	R 2. 3. 19	株式会社 両口屋是清 監査役
理 事	住 友 カヲリ	R 2. 3. 19	ピアノ教室 主宰
理 事	三 島 寿 子	R 2. 3. 19	株式会社 MTI 取締役
監 事	毛 利 隆 志	R 3. 3. 16	公認会計士
監 事	福 田 千鶴子	H30. 3. 12	有限会社 国泰寺企画 代表取締役
評議員	今 千 尋	H30. 3. 12	医療法人 大庚会 常任理事
評議員	石 本 陽 子	H30. 3. 12	石本音楽教室 主宰
評議員	小 林 孝	H30. 3. 12	公益財団法人 津山文化振興財団 理事
評議員	鈴 木 幸 子	H30. 3. 12	鈴木書道教室 主宰
評議員	篠 原 みゑ子	R 2. 3. 19	株式会社 篠原食品 代表取締役
評議員	渡 辺 史 子	R 2. 3. 19	湘南菱油 株式会社 役員
評議員	井 植 豊 子	R 2. 3. 19	塩屋土地 株式会社 監査役
評議員	佐々木 民 子	R 2. 3. 19	宗教法人 前神寺 役員
評議員	綾 部 純 子	R 2. 3. 19	あやバククリニック 理事
評議員	福 島 美登利	R 2. 3. 19	株式会社 福島漁業 取締役副社長
評議員	林 敦 子	R 2. 3. 19	株式会社 林 取締役
評議員	石 原 敏 枝	R 2. 3. 19	石原紀一税理士事務所 副所長
評議員	西 井 和 子	R 2. 3. 19	笠岡人権擁護協議会 人権擁護委員
評議員	福 田 邦 子	R 2. 3. 19	学校法人 九州ルーテル学院 理事長

※全員が非常勤です